

北海道異分野連携教育事業

履修者募集要項



札幌医科大学



北海道医療大学



公立千歳科学技術大学

異分野大学院連携でイノベーティブな人材育成を目指します

札幌医科大学、北海道医療大学、公立千歳科学技術大学の各大学院研究科に入学された皆さん、心からお祝いを申し上げます。

皆さんの大学院での学びがより充実し、そして今後のキャリアに少しでも役立つようにと異分野大学院連携教育事業を立ち上げました。科学技術の発展に伴い、社会構造が変化しつつあります。そして、社会で求められるスキルセットも変わりつつあります。この異分野大学院連携では、異なる3大学が協働して大学院における新しい「高度職業人」の育成を目指します。

ご存知の通り、北海道の産業は課題が山積しています。広域な土地や降雪、少子高齢化による人口構成の変化など多くの影響要因があります。この北海道異分野連携教育事業では、そうした課題を今までにない創造的な問題解決方法を提供することのできる「イノベーティブな人材育成」を目指しています。そのためには、一つの分野での問題解決を図ることには限界があり、様々な分野と連携して、今までにないイノベーションが必要となります。この事業では、そのような人材の育成のため、さまざまなプログラムを提供しています。

札幌医科大学からは医学に関する知識の提供、公立千歳科学技術大学からは情報に関する知識の提供、そして北海道医療大学からは異分野で協働して問題を解決してくための知識・スキルの提供を行います。そして今後は、この事業の中で、北海道の課題解決、特に医療分野の課題解決ができるような取組みを行っていく予定です。

皆さんの学習を少しでも支援し、また皆さんの知識・スキルを北海道の課題解決に役立ててみませんか？

多くの大学院生のご参加をお待ちしています。

2019年4月

札幌医科大学 学長 塚 本 泰 司

北海道医療大学 学長 浅 香 正 博

公立千歳科学技術大学 学長 川 瀬 正 明

目 次

I	履修要項	3
	1. 受講対象者について	
	2. 受講可能科目について	
	3. 募集人員について	
	4. 受講料について	
	5. 履修手続について	
	6. 履修の可否について	
	7. 履修の方法について	
	8. 身分について	
	9. 単位の授与、認定について	
	10. 個人情報の取り扱いについて	
II	シラバス	4
	1. 札幌医科大学	5
	前期 基礎医学概論Ⅰ	
	後期 基礎医学概論Ⅱ	
	2. 北海道医療大学	7
	前期 フィジカルアセスメント特論	
	通年 異分野連携実践論	
	3. 公立千歳科学技術大学	9
	前期 情報技術特論	
III	書類様式	10

I 履修要項

1. 受講対象者について

札幌医科大学、北海道医療大学、公立千歳科学技術大学に在籍する大学院学生（科目履修生、研究生及び聴講生等は除く）は所定の手続を経て受講することができます。

2. 受講可能科目について

大学が開設する授業科目の中から選択して受講することができます。複数の受講も可能です。自大学学生の履修については、各授業科目によって異なります。詳しくはシラバスの「自大学学生の履修」欄を参照してください。

3. 募集人員について

各授業科目によって異なります。詳しくはシラバスを参照してください。

4. 受講料について

受講料は無料です。

5. 履修手続について

所定の履修申請書（別紙様式1）を期間内に所属大学の担当者に提出してください。履修手続期間 後日、各大学から必要事項を連絡します。

6. 履修の可否について

所属大学を経て通知します。なお、募集人員を超えて履修申請があった場合は、履修できないことがあります。

7. 履修の方法について

e-ラーニングを主とし、演習・実習、スクーリング等の教育方法を含みます。

8. 身分について

履修を認められた者は、授業科目の開設大学において「特別聴講生」となります。

9. 単位の授与、認定について

授業科目を履修し、所定の試験等に合格した者には、授業科目の開設大学から単位が授与され、単位互換協定に基づき、所属大学において単位認定されます。

単位の取扱いについては各大学で異なりますので、所属大学にご確認ください。

10. 個人情報の取扱いについて

履修手続、修学指導のために所属大学が保有する個人情報を使用することがありますが、その他の目的には使用されません。

II シラバス

授業科目一覧

授業科目開設大学名	授業科目の名称	開講時期(※1)	単位
札幌医科大学	基礎医学概論Ⅰ	前期	2
	基礎医学概論Ⅱ	後期	2
北海道医療大学	フィジカルアセスメント特論	前期	2
	異分野連携実践論	前期・後期	2
公立千歳科学技術大学	情報技術特論	前期	2

※1

前期 4月1日～9月30日

後期 10月1日～3月31日

1.札幌医科大学

開講時期	授業科目	学 年	単位数	募集人員
前期 (*1)	基礎医学概論 I	修士 1 年・2 年 (*2)	2 単位	50 人
科目コーディネーター (所属)				
相馬 仁 (札幌医科大学)				
目 標				
情報科学、工学、商学などを専門とする者と医学を専門とする者の異分野連携を可能とするため、医学・医療また地域医療に関する基礎的な知識を広く取得することを目標とする				
概 要				
①人体の構造・機能の基礎 ②病気の基礎 ③診断・治療の基礎 ④北海道における地域医療の現状と課題 ⑤最新の医学の話題を学ぶ				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員
1	授業全体の概観	ガイダンス	授業全体の学び方を理解する	中村、相馬
2	人体の構成とその機能	器官系・臓器、組織、細胞	正常人体の構成を細胞レベル・組織レベルで説明できる。	中村、他
3	循環器系・呼吸器・消化器系	正常機能と形態、疾患	各器官・臓器の基本的構造と機能を説明でき、その代表的な疾患について理解できる。	中村、他
4	内分泌系・泌尿・生殖系	正常機能と形態、疾患	各器官・臓器の基本的構造と機能を説明でき、その代表的な疾患について理解できる。	中村、他
5	神経・感覚器系	正常機能と形態、疾患	各器官・臓器の基本的構造と機能を説明でき、その代表的な疾患について理解できる。	中村、他
6	生体物質の代謝 1	代謝の意義とエネルギー代謝	生体の恒常性維持の機構を個体のレベルで解釈できる。	相馬、他
7	生体物質の代謝 2	代謝と病態	糖尿病、痛風等の代謝異常にかかわる病態をその分子機構を踏まえ、個体のレベルで理解できる。	相馬、他
8	病気の成り立ち	病気成立の医学的概念	正常と異常（急性と慢性の病態）を説明できる。	中村、他
9	感染症	感染症の病因（病原体）、病態生理	病原体に対する生体の反応や診断・治療を説明できる。	中村、他
10	免疫、アレルギー疾患	自己免疫性疾患・アレルギー疾患の病態生理	免疫・アレルギー疾患を概説し、その種類を列挙できる。	中村、他
11	腫瘍	腫瘍の定義、病理・病態、診断・治療	腫瘍の生理・病理学的理解の下に診断・治療を概説できる。	中村、他
12	生体と薬物	薬物の作用機序と薬物療法の基本的な考え方	医療における薬物治療と投薬の問題点を説明できる。	未定
13	診断入門	病人の診かたの実際と諸々の症状の考察	病気の診断の手順の基本を説明できる。	三谷、他
14	地域医療と福祉	北海道地域医療の現状と課題、また高齢者の福祉に関する問題や特有な疾患について	医療・保健・福祉の立場からみた北海道の地域医療の課題を説明できる。また、高齢者に特有の疾患や社会的問題を説明できる。	未定
15	医学トピック	再生医学、移植医療、緩和医療、精神医学、等（選択）	最新の医学の話題を理解する。	
キーワード	ヒトの解剖、組織、生体の科学、診断、治療、地域医療			
履修上の留意点	最終試験は対面にて行う。レポートはオンラインで提出する。			
評価方法・基準	各回の確認テスト、最終試験・レポート			
教科書				
参考書	ヒトの生物学（永田恭介 監訳 丸善）、よくわかる生理学の基本としくみ（當瀬規嗣 秀和システム）、よくわかる薬理学の基本としくみ（當瀬規嗣 秀和システム）			
自大学学生の履修	履修は可能だが単位は認められない。			
備 考	(*1) 前期の授業科目は希望者がいる場合、後期でも受講できる。 (*2) 対象学年は修士 1 年を優先する。			

開講時期	授業科目	学 年	単位数	募集人員
後期	基礎医学概論Ⅱ	修士1年・2年(*1)	2単位	50人
科目コーディネーター(所属)				
相馬 仁(札幌医科大学)				
目 標				
情報科学、工学、商学などを専門とする者と医学を専門とする者の異分野連携を可能とするため、医学・医療に関する基礎的な知識を広く取得することを目標とする				
概 要				
①医学・医療の倫理 ②人体の構造・機能の基礎と発生の概要 ③疾患とその診断、治療の基礎 ④さらに幅広い臨床医学の話題を学ぶ				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員
1	授業全体の概観	ガイダンス	授業全体の学び方を理解する	中村、相馬
2	医学・医療の倫理	一般的な倫理、生命倫理学	生命倫理学について自分なりの倫理観を説明することが出来る。	今井
3	進化医学	人類の進化、進化医学	人類の進化について説明することが出来る。人体の弱点の要因について説明することが出来る。	松村
4	骨格・筋系	正常機能と形態、疾患	各器官・臓器の基本的構造と機能を説明でき、その代表的な疾患について理解できる。	中村
5	情報伝達機構1	筋の収縮などの調節機構と病態	筋肉の収縮のCa ²⁺ 調節機構を説明でき、調節に係る病態を説明できる。	相馬
6	人体の発生	人体発生の概要と病態	精子と卵子の受精後、どのように人体が形成されるか、概略を説明することができる。	中村
7	情報伝達機構2	ホルモンや伝達物質による生体の恒常性と病態	ホルモンや細胞情報伝達物質による生体の恒常性維持機構について理解し、その病態の例を説明できる。	相馬
8	免疫のしくみ1	免疫とは？アレルギーとは？	免疫・アレルギーの仕組みを概説し、生体での働きを説明できる。	苗代
9	免疫のしくみ2	自己免疫疾患・アレルギー疾患の病態生理	免疫・アレルギーが関与する疾患を概説し、その種類・診断・治療を説明できる。	苗代
10	がん治療	がん治療の流れ、ガイドライン 大腸癌、膵癌、乳癌	一般的ながん治療の流れやそれぞれのがんの治療方法を説明することが出来る	平田
11	神経内科学の紹介	アルツハイマー病の歴史 早期診断方法、治療法	アルツハイマー病の早期診断、治療について説明できる。	下濱
12	皮膚科学	皮膚疾患、発疹、蕁麻疹	様々な発疹について説明ができる。 蕁麻疹について説明が出来る。	四ッ柳
13	感情・ストレス・健康の精神科学	ストレスや感情に関わる脳機構	ストレスによる身体への影響や感情に関わる脳機構について説明することが出来る。	鶴飼
14	麻酔の書	循環維持の3要素	循環維持に必要な3要素について説明することが出来る。	金谷
15	放射線防護医療と基幹災害医療センターの役割	災害医療について 基幹災害医療センターの役割	災害医療の特徴と基幹災害医療センターの役割を説明することが出来る。	浅井
キーワード				
履修上の留意点 最終試験は対面にて行う。レポートはオンラインで提出する。				
評価方法・基準 各回の確認テスト、最終試験・レポート				
教科書 なし				
参考書 ヒトの生物学(永田恭介 監訳 丸善)、よくわかる生理学の基本としくみ(當瀬規嗣 秀和システム)、よくわかる薬理学の基本としくみ(當瀬規嗣 秀和システム)				
自大学学生の履修 履修は可能だが単位は認められない。				
備 考 (*1) 対象学年は修士1年を優先する。				

2.北海道医療大学

開講時期	授業科目	学 年	単位数	募集人員
前期・後期	フィジカルアセスメント特論	修士1年・2年	2単位	15人
科目コーディネーター（所属）				
塚本 容子（北海道医療大学）				
目 標				
<ul style="list-style-type: none"> ・クライアントの健康歴を聴取できるようにする。 ・クライアントの総合的な（メンタル・フィジカル・ソーシャル）ヘルスアセスメントを行う事ができる。 ・フィジカルアセスメントを行うための基本的な技術を習得する。 ・聴取した健康歴・フィジカルアセスメントを記録できる。 ・症状・症候別からフィジカルアセスメントを行い鑑識診断につなげることができる。 ・健康歴の聴取、フィジカルアセスメントの結果より個人の多様な健康状態をアセスメントできる。 				
概 要				
看護師その他のコメディカルが、臨床現場でよくみられる症候・症状に対してフィジカルアセスメントを行うための知識・技術を学習する。またその上で、鑑識診断につなげることができるように演出で習得し、実際に OSCE（Objective Structured Clinical Examination）にて評価を行う。				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員
1	対面 ①オリエンテーション ②フィジカルアセスメントの概要	①授業の進め方、e-ラーニング使用方法、評価 ②フィジカルアセスメント概要	①授業に対してどのように取り組みればよいの理解できる。 ②フィジカルアセスメントの重要性が理解できる。 ③フィジカルアセスメントに必要な基礎技術（視診・触診・打診・聴診）を行うことができる。	塚本
2	患者面接方法と健康歴の取り方	①患者とのコミュニケーション ②病歴の取り方	①コミュニケーションを円滑に行うための技術を理解する。	塚本
3	フィジカルアセスメントにあたって必要な標準予防策と全身状態の観察・バイタルサイン	①標準予防策 ②全身状態の観察 ③バイタルサイン	①標準予防策の必要性が理解できる。 ②全身状態の観察を行うことができる。 ③バイタルサイン（脈拍触診・呼吸・血圧）をチェックできる。	塚本
4	対面 頭部・頸部・目・耳・鼻・咽頭部のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①頭部・頸部・耳・目・鼻・咽頭の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
5	胸部・肺・乳房のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①胸部・肺・乳房の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
6	筋骨格系のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①筋骨格系の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
7	対面 中間でのまとめ	今まで学習したことをまとめる	対面の講義・演習にて学んだ知識・技術を振り返ることができる。	塚本
8	神経系のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①神経系の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
9	腹部のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①腹部の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
10	心臓・血管系のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①心臓・血管系の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
11	皮膚・リンパ系のアセスメント	①解剖と病態生理概略 ②方法 ③よくみられる異常	①心臓・血管系の解剖と病態生理の概略が理解できる。 ②フィジカルアセスメントの方法が理解できる。 ③よく見られる異常について、その特徴が理解できる。	塚本
12	対面 まとめ	すべての知識・技術の統合	①フィジカルアセスメントでの結果の正確な記録方法が理解できる。	塚本
13			②フィジカルアセスメントの順序 ③フィジカルアセスメント後の診断	
14	対面 OSCE	OSCE による試験	OSCE により、知識・技術を試験する。	塚本
15	筆記試験		筆記試験	塚本
キーワード	フィジカルアセスメント（身体診察法）、OSCE			
履修上の留意点	演習を含んだ授業である。			
評価方法・基準	筆記試験、OSCE			
教科書	Bickely, L.（著）, 福井次矢、井部俊子（日本語監修）: Bates' Guide to Physical Exam and History Taking, 9th ed. メディカルサイエンスインターナショナル, 2008年			
参考書	適宜配布、講義内で通知			
自大学学生の履修備考	単位としては認められないが、履修可			
備考	履修希望者が定員以上の場合、後期開講も検討する。			

開講時期	授業科目	学年	単位数	募集人数
通年	異分野連携実践論	修士1年・2年	2単位	15人
科目コーディネーター(所属)				
3大学大学院連携事業関係教員[コーディネーター:塚本 容子(北海道医療大学 看護福祉学部)]				
目 標				
異分野連携にもとづく、新しい地域貢献のあり方に関する検討を通じて異分野連携の推進ならびに高度専門職業人にとって必要となる、コミュニケーション、協働(コラボレーション)、リーダーシップ・フォロワーシップのスキルを修得する。				
1. 北海道における地域課題を明確にする方法を理解する				
2. 異分野連携におけるコミュニケーションのスキルを獲得する				
3. 問題解決のためのファシリテーションスキルを獲得する				
4. 問題解決を推進するためのリーダーシップのスキルを理解する				
5. 地域での医療施設において、課題を明確にするスキルを理解する				
概 要				
本科目は、3大学連携事業の科目である。異分野連携にもとづく、新しい地域貢献のあり方をワークショップにより検討する。異分野連携の推進ならびに高度専門職業人にとって必要となる、コミュニケーション、協働(コラボレーション)、リーダーシップ・フォロワーシップ、さらにそれらを細分化したプレゼンテーションスキル、ファシリテーションスキル、リーダーシップスキルをワークショップを通じて修得する。合わせて、地域の医療施設等でのフィールドワークなどを通じて、地域における諸課題のアセスメントの方法を学習する。				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員(所属)
1	異分野連携目的・連携推進	①オリエンテーション ②異分野連携から生まれる地方創生について(Ws) ③地域アセスメント概論	①授業に対してどのように取り組めばよいのか理解する。 ②異分野連携を通じた地方創生について理解する。 ③地域アセスメントの概要について理解する。	塚本
2	異分野協働の問題解決における戦略①: コミュニケーション	①異分野協働の問題解決ツール:コミュニケーション ②異分野理解のためのプレゼンテーション(Ws)	①異分野協働による問題解決をすすめるためのコミュニケーションを円滑に行う技術を理解する。 ②異分野理解のために必要なプレゼンテーションスキルについて理解する。 ③グループワークにおけるツールとしてコミュニケーションスキルなどを実践することができる。 ④グループワークを通じて地域の課題を抽出することができる。	塚本・石角 相馬・杉浦 ・小松川
3				
4	異分野協働の問題解決における戦略②: ファシリテーション	異分野協働の問題解決ツール:ファシリテーション①(*e-learning)	問題解決のための話し合いを適切・円滑にすすめるためのファシリテーションの技法の基礎について理解する。	塚本
5	異分野協働の問題解決における戦略②: ファシリテーション	異分野協働の問題解決ツール:ファシリテーション②(*グループワーク)	講義で学んだ問題解決のためのファシリテーションの技法について、異分野を専攻している学生同士でグループワークで実践することができる。	塚本・石角 相馬・杉浦 ・小松川
6				
7	異分野連携の促進における戦略③: リーダーシップ	異分野協働の促進:リーダーシップ①(*e-learning)	問題解決を推進するための適切なリーダーシップのあり方の基礎を理解する。	特別講師:伊藤
8	異分野連携の促進における戦略③: リーダーシップ	異分野協働の促進:リーダーシップ②(*グループワーク)	①成果を生むための思考のメカニズムについて知る。 ②リーダーに求められるマネジメント能力とリーダーシップについて理解する。	特別講師:伊藤 塚本・石角 相馬・杉浦 ・小松川
9				
10	異分野連携プロジェクト	地域の医療施設でのフィールドワーク	地域の医療施設でのフィールドワークを通じて地域のアセスメントの方法等について学習する。	塚本・石角 相馬・杉浦 ・小松川
11				
12				
13	まとめ	プロジェクトの成果発表・プレゼンテーション	これまでに学んだ知識・技能を総合的に活用し、プロジェクトのまとめ、ならびに成果発表・プレゼンテーションを実践することができる。	塚本・石角 相馬・杉浦 ・小松川
14				
15				
キーワード	ファシリテーション、プレゼンテーション、リーダーシップ、地域アセスメント、地域創生			
履修上の留意点	演習を含んだ授業である。			
評価方法・基準	e-learningの履修状況(20%) プレゼンテーション(80%)			
教科書				
参考書	適宜資料配布、講義内で随時提示			
自学学生の履修備考				

3.公立千歳科学技術大学

開講時期	授業科目	学 年	単位数	募集人員
前期	情報技術特論	修士1年・2年	2単位	制限なし
科目コーディネーター（所属）				
小松川 浩（公立千歳科学技術大学）				
目 標				
医療情報システムを理解する上で必要となる情報技術に関する知識の習得を図ることを目的とする。特に、オープンネットワークを意識した最新の情報技術に関連する内容の理解を目指す。				
概 要				
本講義では、医療情報技術者を目指した場合に必要な、基本的な情報処理技術者向けの知識を理解する。具体的には、コンピュータの基礎（ハードウェア）、ソフトウェア、データベース、ネットワーク技術について学ぶ。 なお、本講義は、情報系を専門としない学生がある程度情報系の素養を身につけることを踏まえた構成となっている。				
回数	学習主題	学習内容	到達目標	担当教員
1	授業全体の概観	ガイダンス	授業全体の学び方を理解する。	小松川
2	基数変換と整数の扱い	2進数・固定小数点・補数の計算	基本的なビット演算を行うことができる。	小松川
3	文字・画像の扱い	文字コード・マルチメディア	マルチメディアのデータサイズを理解できる。	小松川
4	論理回路	論理演算・回路・ビットシフト	コンピュータハードの原理である論理回路の仕組みを理解できる。	小松川
5	ハードウェア基礎	補助記憶装置	システム管理で必要となる、ディスクの容量計算やアクセス時間を計算できる。	小松川
6	アーキテクチャ基礎	CPU 性能	システム運用上必要となる、CPU 性能の評価やアセンブラ等の処理手順を理解できる。	小松川
7	主記憶と仮想記憶	メモリ・仮想記憶	システム運用上必要となる、メモリの働きや仮想記憶装置の働きを理解できる。	小松川
8	ソフトウェア基礎	OS・信頼性	コンピュータソフトの管理で必要となる、OSの働きやソフトウェアの信頼性を理解できる。	小松川
9	プログラム言語	言語プロセッサ・C言語・Java	高水準言語の手続きを理解できると同時に代表的なプログラム言語を理解できる。	小松川
10	データベース	正規化表現	データベースの正規化表現を理解できる。	小松川
11	SQL	SQL の文法	基本的な SQL の仕様を理解できる。	小松川
12	TCP/IP 概論	コンピュータネットワークの基本	コンピュータネットワークの基本を理解できる。	小松川
13	TCP と IP	TCP と IP	特に TCP と IP について理解できる。	小松川
14	ルーティング	ルーティング	ネットワークの機器とルーティングについて理解できる。	小松川
15	マルチキャスト・分散処理	ネットワークアプリケーション	マルチキャストについて原理を理解できる。	小松川
キーワード	コンピュータの基礎、ソフトウェア、ネットワーク、データベース			
履修上の留意点	ガイダンス、最終試験は対面にて行う。その他はe-ラーニングにて対応する。			
評価方法・基準	e-ラーニングの取組状況、各回の確認テスト、レポート、最終試験			
教科書	なし			
参考書	なし			
自大学学生の履修	履修可			
備 考	なし			

III 書類様式

様式1 北海道異分野連携教育事業 履修申請書
※それぞれ所属している大学の研究科長に申請してください。

問い合わせ先一覧

札幌医科大学



〒060-8556

北海道札幌市中央区南1条西17丁目

TEL 011-611-2111 (代表)

URL <http://web.sapmed.ac.jp/>

問合せ窓口：学務課主査 (医療人育成)

北海道医療大学



〒061-0293

北海道石狩郡当別町金沢1757番地

TEL 0133-23-1211 (代表)

FAX 0133-23-1669

URL <http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/>

問合せ窓口：学務部教務企画課大学院担当

公立千歳科学技術大学



〒066-8655

北海道千歳市美々758番地65

TEL 0123-27-6001 (代表)

TEL 0123-27-6065 (学生支援課教務係)

URL <http://www.chitose.ac.jp/>

問合せ窓口：大学院担当